

# 日本中国学会会報

NIPPON CHŪGOKU GAKKAI

1989年 10月  
(平成元年)  
第 2 号

〒113 東京都文京区湯島1丁目4-25湯島聖堂構内 電話 03-251-4606

## 彙 報

- ◎ 第41回大会は大谷大学において10月7日・8日二日間にわたって開催されました(参加者512名)。幸い好天にもめぐまれ、参加者は500名を越え、盛会裡に日程を終了いたしました。ここに平野顕照・河内昭円・若槻俊秀三教授をはじめとする大谷大学の関係各位に心から感謝申し上げます。10月7日の総会における諸報告及び決定事項は次の通りです。

### 【議決事項】

- (1) 昭和63年度収支決算書が承認されました。(P. 4参照)
- (2) 平成元年度収支予算書(案)が一部修正の上承認されました。(P. 5参照)
- (3) 来年度の大会開催校は駒沢大学(東京)に決定いたしました。10月20日(土)・21日(日)の予定。

### 【諸報告及び関連事項】

- (1) ○安居香山評議員の逝去にともない、伊藤虎丸氏が繰り上げ当選されました。  
○鈴木修次・安居香山両学術専門委員の逝去にともない、御手洗勝・佐藤仁の両氏が繰り上げ当選されました。  
○次の会員が選挙管理委員に委嘱されました。(○印は再任)  
(理事) ○石川 忠久・村山 吉広(委員長)  
(評議員) 中野 達・丸山 昇  
(一般会員) ○安藤 信広・影山 輝国・○丸山 茂・鷺野 正明
- (2) ○『学会報』第42集の編集担当校に大東文化大学(責任者:山井 湧教授)が委嘱されました。第42集の「学会消息」欄の原稿を、記入責任者から大東文化大学文学部中国文学研究室(〒175 東京都板橋区高島平1-9-1)宛お知らせ願います。資料は平成元年1月から12月までのものとします。  
○『学会報』第41集の〈学界展望〉執筆校は次の通り。  
哲 学 早稲田大学文学部東洋哲学研究室・代表:村山吉広教授(継続)  
(〒162 東京都新宿区戸山1-24-1)  
文 学 東京大学文学部中国文学研究室・代表:丸山 昇教授(継続)  
(〒113 東京都文京区本郷7-3-1)  
語 学 京都産業大学文学部中国語学研究室・代表:藤井栄三郎教授(新規)  
(〒603 京都市北区上賀茂本山)

著書及び論文の抜刷などの資料を平成2年1月末日までに上記各研究室宛にお送り下さい。取  
載資料は元年1月から12月までのものとします。

〈学界展望〉につきましては、昨年に引続き本年も資料現物の送付とは別に会員各自同封用紙  
(二種類あり)により自己申告していただくことになりましたので、同用紙に記入の上、同封の  
封筒を利用して明年1月末日までに御返送下さい。郵送費は各自御負担願います。なお、御申告  
が無い場合は取載漏れとなることがありますので御注意下さい。また、研究論文目録として掲載  
不相当と思われるものは、執筆校の判断で割愛されることもあります。

○『学会報』の原稿公募について

締切日 平成2年1月31日(当日消印有効)

枚数 本文・注・図版等あわせて400字詰原稿用紙55枚以内

要旨 400字詰原稿用紙5枚以内を添付する。

応募者は『日本中国学会報』巻末の「論文執筆要領」を参照の上、これを遵守して下さい。

(原稿は必ず郵送のこと。本部持ち込み厳禁。)

- (3) 漢籍のコンピュータ入力の方法について日本中国学会としての統一見解をまとめるため、「漢籍  
データベース検討委員会」(仮称)を設置することが理事会で決定されました。とりあえず丸山  
昇・興膳宏両学術専門委員を中心とする東西それぞれの小委員会が明年3月まで審議を進める予  
定です。
- (4) 本年度の日本中国学会賞は、以下の通り授与が行なわれました。

哲学部門 該当者無し

文学部門 長堀祐造氏(桜美林大学)

理事長より選考理由が述べられたあと、学会賞記と賞金(5万円)が贈られました。

(5)

計 報

昨年総会以後、次の6名の会員が逝去されました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

西川 寧(関東)	89 5・16	山田 勝美(関東)	89 4・10
鉄井 慶紀(関東)	89 7・14	安居 香山(関東)	89 7・20
八田 有親(中部)	88 9・15	鈴木 修次(中国・四国)	89 6・11

○平成元年10月8日現在での退会者は別記の通りです(P.8参照)。

○別記の住所不明者名簿(P.8参照)について、御存知の方は御一報願います。

○会費未納の方は同封の振替用紙で至急御送金願います。(振替:東京6-89927)

○会費未納が2年に達した方には学報を送付いたしません。また4年にわたった方は会員資格が  
停止されます。

○『学会報』を学術刊行物扱いで送付する関係上、会員名簿は「会報」と共に送付することにな  
っておりますので、御了承下さい。

○住所・所属機関等変更の場合は速やかに御通知下さい。

平成元年度文部省科学研究費採択状況一覧

(\*は前年度からの継続)

<b>重点領域研究</b>			
〔東アジアの経済的・社会的発展と近代化に関する研究〕			
儒教文化圏の歴史と社会 (490万円)			* 加地伸行 (大阪大学)
<b>一般研究 B</b>			
人文系			
中国中世の儒・仏・道三教における識緯思想の研究 (100万円)			* 今枝二郎 (大正大学)
鹿地亘資料から見た日中戦争期中国文学の問題点の研究 (350万円)			丸山 昇 (東京大学)
<b>一般研究 C</b>			
哲 学			
漢籍のテキスト・データベース化と応用に関する諸問題 (90万円)			麦谷邦夫 (京都大学)
清代考拠学における経書解釈とその認識論的背景 (100万円)			浜口富士雄 (群馬県立女子大学)
南北朝隋唐期の道教の教理体系の解明と道教用語の収集・整理 (70万円)			* 小林正美 (早稲田大学)
文学・語学			
中国語学史の総合的研究一言語観・研究活動の展開を軸として一 (100万円)			大島正二 (北海道大学)
日用類書による明清小説の研究 (100万円)			小川陽一 (東北大学)
隋唐音韻史の基礎的研究 (80万円)			平山久雄 (東京大学)
浙江省中南部呉方言の声調交替に関する実験音声学的研究 (100万円)			W. L. Ballar (愛媛大学)
『楚辞』における植物の文学的表象性一特に「九歌」を中心にして一 (130万円)			黒須重彦 (大東文化大学)
『五天竺』と皮影戯『西遊記』一日中民間芸能の比較研究一 (110万円)			磯部 彰 (富山大学)
中国左翼作家連盟に関する研究 (20万円)			* 近藤龍哉 (埼玉大学)
<b>奨励研究 A</b>			
哲 学			
新出土資料を中心とした中国古代兵学思想史の基礎的研究 (70万円)			湯浅邦弘 (島根大学)
『神農本草経』の仙薬について (60万円)			大形 徹 (大阪府立大学)
文学・語学			
茅盾 (沈雁氷) における諸外国の文芸理論受容状況の整理研究 (90万円)			白水紀子 (横浜国立大学)
明清時代の出版文化に於ける句読点の研究 (90万円)			高津 孝 (鹿児島大学)
悉曇学から見た等韻学の成立過程 (90万円)			遠藤光暁 (青山学院大学)
中国同時代文学における“西方”(欧米と日本)理論受容の諸問題 (100万円)			宇野木 洋 (立命館大学)

上記一覧表に記入漏れがありました場合は学会事務局まで御一報願います。

平成元年度新入会員一覧表

退会者一覧

5月21日入会承認(会員名簿に登録済につき、花月等略)

早坂正治(東北) 青木孝彰・石川泓美・市川任三・緒方 康・大出あや子・片山一・酒井忠夫・  
 平川 彰・芳原一男・毛利和美(関東) 荒井瑞雄・佐藤匡玄・寺岡竜含(中部) 川口 晃・  
 北村 学・清田研三・太田辰夫・鈴木一郎(近畿) 古沢未知男・望月八十吉(九州)

住所不明者一覧

(御存知の方は事務局までお知らせ下さい)

(東北地区) 浅野裕一・山田 俊 (関東地区) 大井浩之・大塚彰一郎・古茂田彰男・鈴木勝則・  
 土井 伸・林 隆司・本多良隆・矢野正敬・安永博志・横内哲夫 (近畿地区) 佐藤一好・前田  
 梨香・矢放昭文 (中国・四国地区) 今浜通隆 (九州地区) 野口一雄

地区	氏名	住所	退会理由	備考
東北	早坂正治	175 東京都中央区	退会	
関東	大井浩之	221 東京都神奈川区	退会	
関東	大塚彰一郎	136 東京都江東区	退会	
関東	古茂田彰男	192-08 八王子市南大	退会	
関東	鈴木勝則	107 東京都北区	退会	
関東	土井伸	114 東京都北区	退会	
関東	林隆司	228 東京都中央区	退会	
関東	本多良隆	154 東京都中央区	退会	
関東	矢野正敬	203 横浜市南区	退会	
関東	安永博志	249-11 横浜市南区	退会	
関東	横内哲夫	177 東京都目黒区	退会	
近畿	佐藤一好	422 神戸市東灘区	退会	
近畿	前田梨香	222 大阪市東淀川区	退会	
近畿	矢放昭文	806 京都市左京区	退会	
中国・四国	今浜通隆	600 京都市上京区	退会	
中国・四国	今浜通隆	604 京都市左京区	退会	
中国・四国	今浜通隆	606 京都市左京区	退会	
九州	野口一雄	606 京都市左京区	退会	
九州	野口一雄	796 福岡県吉田	退会	
九州	野口一雄	794 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	802 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	804 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	806 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	808 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	810 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	812 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	814 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	816 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	818 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	820 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	822 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	824 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	826 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	828 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	830 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	832 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	834 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	836 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	838 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	840 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	842 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	844 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	846 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	848 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	850 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	852 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	854 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	856 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	858 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	860 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	862 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	864 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	866 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	868 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	870 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	872 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	874 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	876 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	878 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	880 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	882 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	884 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	886 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	888 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	890 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	892 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	894 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	896 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	898 福岡県北九州市	退会	
九州	野口一雄	900 福岡県北九州市	退会	